

商工部新産業・技術振興課  
(福岡水素エネルギー戦略会議事務局)  
内 線：3736, 3737  
直 通：643-3448  
担 当：水素班 古川、大川内

九州経済産業局廣實局長並びにNEDO古川理事長の小川知事訪問について  
「国際水素燃料電池パートナーシップ (IPHE)」第20回運営会議  
の福岡開催を報告

～世界18カ国地域の政府関係者が水素・燃料電池分野の発展に向けて審議～

- 福岡県では、福岡水素エネルギー戦略会議※1とともに、他の地域に先駆けて水素関連技術の集積と産業の育成を図り、水素・燃料電池分野を本県の成長産業にするため、「福岡水素戦略 (Hy-Life<sup>ハイライフ</sup>プロジェクト)」※2を展開しています。
- このたび、「国際水素燃料電池パートナーシップ (IPHE: International Partnership for Hydrogen and Fuel Cells in the Economy)」※3の運営会議の開催地に福岡県が指名されました。運営会議は全加盟国が参加し、今後の活動方針を決定します。
- 国際水素燃料電池パートナーシップ (IPHE) とは、平成15年に米国エネルギー省が提唱した、水素・燃料電池の普及促進をめざす国際協力枠組みであり、現在、我が国を含む18ヶ国・機関が参加しています。
- 今年5月23日、日本が議長国に選任され、2013年から2年間、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の橋本 道雄新エネルギー部長が議長に就任しました。
- 議長国として初めての国内開催地として福岡県が選ばれたのは、水素・燃料電池関連分野の世界的な研究拠点の集積※4や、福岡水素エネルギー戦略会議が2010年にIPHEアワード「優秀リーダーシップ賞」※5を受賞した実績などが評価されたものです。
- 6月27日 (木) 14:40、九州経済産業局の廣實 郁郎局長並びにNEDOの古川一夫理事長が福岡県庁を訪れ、小川知事に、開催地決定の報告と、開催に向けた協力要請を行います。
- 世界各国の政府関係者や企業関係者が福岡を訪れるこの機会を契機に、「福岡水素戦略 (Hy-Life<sup>ハイライフ</sup>プロジェクト)」を着実に推進し、水素エネルギー・環境を軸とした産業の拡大を目指して参ります。

- なお、訪問終了後15:00から、県庁8階会見室にて、「国際水素燃料電池パートナーシップ (IPHE)」運営会議の福岡開催について、NEDOの橋本部長による記者会見を行います。

### ※1：福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造・輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（2004年8月発足）。

2013年6月1日現在、676企業・機関が会員として参加。会長は、新日鐵住金株式会社 岩城正和（いわき まさかず）代表取締役副社長。

### ※2：福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）

「研究開発」「社会実証」「水素人材育成」「世界最先端の水素情報拠点の構築」「水素エネルギー新産業の育成・集積」を柱とした福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議のプロジェクト。

### ※3：国際水素燃料電池パートナーシップ

(IPHE: International Partnership for Hydrogen and Fuel Cells in the Economy)

水素・燃料電池に係る技術開発、基準・標準化、政策情報交換等を促進するための国際協力枠組みの構築を目指して、2003年に米国を中心に提唱され結成。運営会議（Steering Committee: SC）には、米国エネルギー省やドイツ連邦交通建設都市開発省などの、各国で水素・燃料電池に関わる政策立案組織が参加する。2013年6月時点でのメンバーは、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、欧州委員会、フランス、ドイツ、アイスランド、インド、イタリア、日本、韓国、ノルウェー、ロシア、南アフリカ、イギリス、アメリカ、ニュージーランド。（<http://www.iphe.net/>）

### ※4：福岡県における研究拠点の集積

#### ○水素材料先端科学研究センター（平成18年7月設立）

水素脆化の基本メカニズムを解明するとともに、水素脆化を大幅に減少させる熱処理方法を発明

#### ○カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（平成22年12月設立）

水素の製造・貯蔵・利用及びCO2回収・貯留等に関する様々な課題を究明し、持続可能なカーボンニュートラル・エネルギー社会を実現するための研究を実施

#### ○次世代燃料電池産学連携研究センター（平成24年1月設立）

次世代型燃料電池に集中的に取り組む九州大学と、開発企業との緊密な産学官連携により、次世代型燃料電池の開発・早期実用化を可能とする産学連携研究拠点

#### ○水素エネルギー製品研究試験センター（平成21年3月設立）

水素エネルギー新産業への中小・ベンチャー企業の参入促進を図るため、水素関連製品の試験評価を行う機関として設立

### ※5：IPHEアワード国内受賞歴について

優秀リーダーシップ賞は、2010年、福岡水素エネルギー戦略会議が国内で初の受賞。

年	種別	受賞者	
2006	優秀リーダーシップ賞	J. Bentham	Royal Dutch Shell 副社長
		Donald L. Paul	ChevronI 副社長
	技術功績賞	HYFLEET:CUTE	EU
		Pproject Hydrosol	EU
	JHFC プロジェクト	日本、(財)日本自動車研究所・(財)エンジニアリング振興協会	
2007	功労賞	ゲイル・ホルデ	アイスランド首相
	優秀リーダーシップ賞	許 倬	中国科学技術部
	技術功績賞	水素ハイウェイ	カナダ、ブリティッシュコロンビア州
渡辺 政廣 教授		日本、山梨大学	
2010	優秀リーダーシップ賞	福岡水素エネルギー戦略会議	日本、福岡水素エネルギー戦略会議
	技術功績賞	秋葉 悦男	日本、独立行政法人産業技術総合研究所